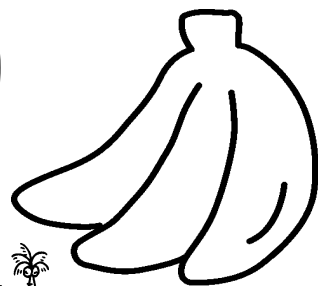


ばななだより

草笛学園 2024年 最終号



いよいよ年長さんに・・・！

ばなな教室も今月の活動でおしまいになります。保護者の皆さまには、たくさんのご理解ご協力をいただき、ありがとうございました。子どもたちも保護者の皆さまも、”はなな教室って何？” “どんなことをするんだろう・・・”とドキドキがたくさんだったと思います。回を重ねるごとに活動に意欲的に参加するようになり、とっても賑やかで楽しいばなな教室さんの仲間たちでした！

4月からは、いよいよ年長さんですね。子どもたちは、保育所・幼稚園で一番お兄さん・お姉さんの存在である「年長さん」のかっこいい姿を今までたくさん見て、あこがれの気持ちをいっぱい膨らませて過ごしてきたことと思います。大きな自分をいっぱい感じてほしいと思っています。

生活の流れを身につけ見通しを持って生活する力

就学前の用事で大切に考えていることのもうひとつは、生活の流れを身につけ、見通しをもって生活する力を育てることです。5歳児では、それほど先のことまで考えられるわけではありませんが、「これをしたら、あれをする。その次はこれをする」という毎日の生活の流れが、身につけていることは大切だと思います。

今の子どもたちのおおくは、「指示待ちっこ」です。一つひとつ支持されないと生活行動がスムーズにできないという状況が見受けられます。それは、これまで非常に細切れの指示で生活してきたからだと考えられます。

ある小学校1年生の担任が、自分のクラスでアンケートを取られました。「お家の人によく注意されることは何ですか？」という質問です。多い方から20項目紹介されていました。

①早く時間割をしなさい②早くなさい ③早く宿題をしなさい④もっと字をきれいに書きなさい ⑤早くご飯を食べなさい⑥早く起きなさい⑦早く学校へ行きなさい⑧ちゃんと片付けしなさい⑨ゲームはもうやめなさい 10 テレビをもう消しなさい<略>

今の子どもたちが、「早くしなさい」と細切れの指示を受けて、追い立てられるように生活している姿を思い浮かべることができます。朝目覚めた時から、「早く起きなさい。早く

着替えなさい。早くご飯を食べなさい。「いただきます』を言いなさい。一等と言われ、それを一つずつこなしながら生活しているようです。これでは、子どもたちが本当の意味での生活の主人公になっているとは言えません。受け身なのです。「でも、うちの子もは、一つずつ言わないと何もしないのです」とおっしゃったお母さんもいらっしゃいました。その方の気持ちもよく分かります。けれど、今まで何年間か育ててきた過程のなかで、子どもが受け身になってしまったのです。子どもの責任ではなく、大人の責任ではないでしょうか。大人の方が、その関係性をどこかで切り換えていかなければなりません。

保育所の先生から次のような話を教えてもらったことがあります。その先生は、転勤で保育所が変わりました。新しい保育所で、初めて会う4歳児を担当しました。そのクラスの子もたちは、「先生、次、何スルノ？」「次、何シタライノ？」と、しばしば聞きに来るのだそうです。先生は、最初は一つひとつ答えていました。でも、常に指示を待っている子どもたちは、あまりにも生活態度が受け身なのではないかと感じ、途中から対応を変えてみました。「あなたは何がしたいの？」「あなたは何をしたらいいと思う」と聞き返すようにしたのです。すると、次第に子どもたちは、「先生、次ハラスルンダッタミナア」と確認に来たり、「先生、〇〇シタイノダケド、シテモイイ？」と了解を求めに来たりと変わっていったそうです。

子どもたちが生活の活動や見通しを持てるように、大人は工夫をしなければならないということが分かります。保育所の中だけでなく、家庭生活においても同様のことが言えるでしょう。たとえば、毎日の生活日課をきちんと確立しましょう。同じリズムで同じ活動を繰り返す中で、子どもは生活の流れを理解し、「コレノ次ハ、アレスル」ということが分かるようになっていきます。そして、毎日の生活と違うことをする目には、子どもが分かって分からなくても、前もって説明しておく必要があります。突然、「さあ、〇〇しなさい」と言われても、子どもは混乱してしまうでしょう。時計が読めなくても、「0時になったら、こうするからね」と予定を前もって説明しておくことが大事なのではないかと思います。

生活の中には「時間」があることを、少しずつ伝えていきましょう。

子どもが周りからの指示で追い立てられて生活するのではなく、子ども自身が見通しを持ちながら生活するということが大切です。それが、本当の意味で子どもが生活の主人公になれるということではないでしょうか。

『小学校までにつけておきたい力と学童期への見通し』丸山美和子著

